

大学教務実践研究会 教務と国際の架け橋プロジェクト 研究会にお試して1度参加してみませんか？

【プロジェクトの概要】

各大学で教育の国際化を推進するにあたり、国際部門と他の部門の連携不足が課題となっている職場は少なくありません。そこで、大学教務実践研究会では2021年に「教務部門と国際部門の架け橋プロジェクト」を立ち上げ、お互いの連携を円滑にするために役立つツールの開発や初任者向け講習会を行ってきました。研究会は平日夜間オンラインで行うことを基本としています。

中央教育審議会で議論されている次期答申（急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について）では、具体的方策として「多様な学生の受入れ促進（外国人留学生や社会人等）」が掲げられており、教育の質向上や学生確保の観点から、全ての部門が教育の国際化に向き合っていかなければならない状況になりつつあると言えます。

このプロジェクトは、先進事例の共有ではなく、一般的な大学の国際化に必要な環境整備や業務に不可欠な実践的知識の共有を目的に活動してきました。2025年度からは組織やメンバーを拡大し、これまでの活動に加えて、外国人留学生や社会人といった多様な学生の受入れを促進するために必要な環境整備や業務に不可欠な実践的知識の共有にもチャレンジしていきたいと考えています。

【大学教務実践研究会／教務と国際の架け橋プロジェクト 公開研究会のご案内】

- ・1回お試して参加してみませんか（会費、知識・経験、事前準備は不要／大学・短大・高専所属の教職員に限ります）。

東京会場 1月25日（土）13時30分～16時30分 東京都立大学（南大沢キャンパス） お試し参加定員10名程度

大阪会場 2月23日（日）13時～16時 大阪学院大学 お試し参加定員10名程度

- ・知識や経験を披露しあう&評論しあう場ではなく、素朴な疑問や悩みを対話により論点を整理していく場です。

当日の流れ：アイスブレイク → 一般的な大学の困りごとをテーマに、参加者の対話により課題や対応策を可視化・整理していく

- ・参加希望の方はこちら（定員になり次第、受付を締め切ります）

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfhS3Einrp-x04iJwX7itdPk9UZii8poqDVd1uRT09kUSh4-A/viewform?usp=sharing>